

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
リカバリーくすくす		R7年10月1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個々の好みや、動ける範囲等を考え移動できるスペースや同線など考えて行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・職員数は少ないが、プロ意識をしっかり持って行っている者が集まっているので問題ない	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用所が好んでいられる場所を意識し、物の配置を行っている。バリアフリーは賃貸の為出来る事と出来ない事がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日朝、夕と清掃を行い、事業所内だけでなく、車両車も清掃を欠かせない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別対応の利用者が居るため、常に別部屋や別に行動できるスペース、場所を考えている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・職員間の考えの一致を図るようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年アンケートをお願いしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・終礼時気づいたことを話に出し、それはどうなのか皆で考え改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・特にない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間計画に従い社内の研修は行っている。社外の研修も自分の求めるスキルがあるものが」見つかった時には出向くようにしている	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・H.Pで公開されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・支援計画書では、職員と利用者の日頃の成長を話し合い、その後面談を行っている。児発管だけの目線でなく職員一人一人の目線で意見を出している物で、保護者とも話し合った上作成しているので、保護者も納得の行く計画になっている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・利用者の最善の利益しか考えていない	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員のスペックが高いので問題ない。もし、違う方向に職員が向いていた時には、なぜそう思うのか確認し軌道修正をお互いに心掛けている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・研修などで学んだことや、日々観察で気が付いたことで、解決を進めている	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・使える支援項目は見落とさないようしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・担当などは固定されないよう、準備が十分に出来る職員が行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・定着支援を含め、固定しすぎない様になっている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・活動がスムーズに行える物、利用者にあった活動内容を常に意識している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝の朝礼できっちりと打ち合わせを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・話し合いを常に行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年ごと面談を行いきっちり行えている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・十分行えている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・予想される選択肢を提供する事で、枠の中でも自分らしさが出るよう心がけている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・状況が変わった時なども含め会議を行っており、参加も勿論している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校、相談事業所、市役所なども支援体制のコミュニケーションを行えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者にも協力してもらい調整出来ている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・特におこなっていない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・事業所への伝達や、ショートステイの連絡などを積極的に行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・やり取りの必要性を感じていない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・特にない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・その日のうちに話し合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアトレの研修もやってきたので、いつでも対応できる	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時にしっかり説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・行えている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・行えている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ノートやSNSのやり取りでその時に、そのタイミングで行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・エリアでの運動会・バレーボール教室があり、公開している事と兄弟での参加を呼び掛けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・SNSはフルに活躍している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・行っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・行っている	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・行っている	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・会社で制作されている物を事業所ごと確認し使用している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年2回行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・てんかん発作利用者が多いため研修にも参加している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者からの聞き取りはしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・行っている	